



2001年03月25日

フォルクスワーゲン ニュービートル カップ ジャパン2001開催概要決定

Volkswagen New Beetle Cup Japan 2001 race regulation and schedule. フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役:梅野 勉)がサポートする、JAF(日本自動車連盟)公認のナンバー付き車両で行なわれる輸入車初のワンメイクレース、“フォルクスワーゲン ニュービートル カップ 2001”の概要が決定し、3月25日(日)筑波サーキットにおいて本年度のレギュレーションとカップカーの概要及び価格等が発表されました。

2001年度のニュービートル カップは、昨年度より1戦多い全5戦が予定され、本年度新たに追加販売されるレース用ニュービートル20台を加えた、最大40台のカップカーが全国の主要サーキットを転戦します。また本年度からはプライベート参加者向けに、新たにクラブマン クラス(ビギナークラス)を新設、多くのドライバーに入賞のチャンスが広がりました。なおシリーズ ポイントは、各選手が取得したポイントのうち良い成績から4戦分が加算されます。また今年最大のトピックスとして、より迫力のあるレースを参加者、観戦者全員に満喫して頂ける様に、V・T・A(フォルクスワーゲン・トロフィー・アソシエーション)ではレース走行用の公認マフラーを準備、これを装着することによって、さらに迫力のあるレーシング サウンドとダイナミックなレース シーンの双方の演出を狙っています。

昨年からスタートしたこのニュービートル カップ ジャパン レースシリーズは、ドイツ本国にあるフォルクスワーゲン レーシング(旧フォルクスワーゲン モーター スポーツ)が主宰するモータースポーツ プログラムに基づいたもので、ここ日本においてはV・T・Aが中心となり、レギュレーションの策定及び車輛製作、レース運営などが行なわれています。昨年度の開催実績は、全国4箇所のサーキットを転戦する総合ポイント式で争われました。またシリーズ チャンピオンの山本選手は、ドイツ ホッケンハイムで行われたADAC主催のドイツ ニュービートル カップ最終戦に日本人として初めて参戦し、初出場にして見事4位に食い込む快挙を成し遂げ、華々しく日本人選手の実力をアピールしました。

なお、カップカーに関する主要諸元及び、レース用の装備については下記の通りです。またVGJのインターネット ホームページでは、ニュービートル カップ専用のアイコンがシリーズ期間中表示され、いつでも簡単にレース情報などをご覧頂けます。

New Beetle Cup Vehicle Data	
車輛の仕様	New Beetle 1.8T 2Dr、左ハンドル 5速マニュアルトランスミッション
車輛型式	GF-9CAWU
エンジン型式+排気量など	AWU型、1,780cc ターボチャージャー付ガソリン エンジン
全長 (mm)	4,090
全幅 (mm)	1,730
全高 (mm)	1,500
車輛重量 (kg)	1,280

乗車定員（名）	5
レース装備一覧	6点式ロールゲージ、4点式シートベルト（運転席のみ）、 F/R牽引フック、F/R フードロックピン、F/Rコイルスプリング、F/Rブレーキパッド、7JX16インチ アルミホイール、 205/50R 16 POTENZA 540S スタイヤ、フロントアンダースポイラー、ゼッケン/ゼッケンベース、フロントホルダーテイント※1
希望小売価格（円）	3,500,000（車両本体価格¥2,700,000+レース装備品¥800,000）

※1 フロント ウインド上部にあるフォルクスワーゲン ロゴ ステッカー

回数	日程	開催地	サーキット
第1戦	5月19日（土：予選） / 20日（日：決勝）	山口県	美祢サーキット
第2戦	6月30日（土：予選） / 7月1日（日：決勝）	三重県	鈴鹿サーキット
第3戦	7月15日（日：予選+決勝）	茨城県	筑波サーキット
第4戦	9月2日（日：予選+決勝）	栃木県	ツインリンクもてぎ
第5戦	9月23日（日：予選+決勝）	静岡県	FISCO（仮称：2001 VW フェスト in Fujiと併催）